

まちのわだい



岸本駅前活性化イベント

岸本きないや祭

岸本きないや祭が、11月17・18日の2日間開催され、岸本公民館や岸本駅前通りは、大勢の人で賑わいました。

今年で27回目を迎えるこの祭りは、鎌や鍬などの農具を販売する吉長市が始まりですが、現在では駅前や岸本公民館などで、様々なイベントが開催される祭りに変化しています。

岸本公民館や町民岸本体育館では、保育所児童、小学生の作品や公民館教室・サークルの作品などが展示されたほか、岸本図書館による絵本の読み聞かせが行われました。また、地域の子どもたちによる「こどもみこし」が会場内を練り歩き、多くの来場者から声援をうけていました。

1日目はあいにくの雨模様となりましたが、2日目はごわやかに晴れ渡り、会場周辺は多くの来場者で賑わいました。



「わっしょい!」と元気に街を練り歩くこどもみこし

全国に誇る和牛を味わう

伯耆町産和牛の交流給食会



ステーキを美味しく頬張る児童



町内産のりんごと玉ねぎを使ったソースをかけて

伯耆町産の和牛を使ったステーキが12月10日、町内の学校給食で提供されました。

これは、10月に長崎県で開催された、第10回全国和牛能力共進会で好成绩を収めた町内の和牛を、子どもたちに知ってもらい、さらに地域に誇りと愛着を持ってもらうと企画されたものです。この日は、生産者や共進会の出場を支援した役場関係者らと一緒に交流給食を行いました。

ステーキに使われた和牛は、大平原の前田道夫さんが共進会に出品したもので、児童たちは、普段給食に出る機会がないステーキを、生産者や町長たちと会話をしながら美味しく食べていました。

二部地区の椎茸が全国で紹介される

くいしん坊!方歳収録

フジテレビ制作の人気番組「くいしん坊!方歳」が11月20日、二部地区の特産、「椎茸」を取材しました。くいしん坊!方歳は、全国各地の郷土料理を紹介し、食へることの喜びを伝える、昭和50年に放送開始した長寿番組です。この日、二部地区を訪れたのは、番組のリポーターを12年務める松岡修造さん。松岡さんは、女性椎茸生産者グループ「山の神会」の皆さんが用意した、ジャンボ椎茸を使った刺身や羊かんなど5品を味わいました。中でも椎茸をバターでいためた椎茸ステーキを気に入り、より力を入れてリポートしました。

収録後松岡さんは、山の神会のみなさんや集まった住民らとの記念撮影に気さくに応じ、笑顔いっぱい収録となりました。



松岡さんの軽快なトークに表情がほころぶ山の神会のみなさん